

ID 1008394

将来を見据えた育成で
さらなる高みへ



1 宇都宮ブレックスU15大会優勝時 2 U15チームの練習風景（令和2年8月3日撮影） 3 菊田さん
4 星川さん 5 荒井コーチ

宇都宮ブレックスU15

荒井 尚光さん(U15ヘッドコーチ)
菊田 隼利さん(中学3年) #13
星川 開聖さん(中学3年) #18
(大会出場当時)

プロフィール

2016年に創設された、中学生対象のユースチーム「宇都宮ブレックスU15」。宇都宮ブレックスや日本代表、世界で活躍できる選手の輩出を目指しています。今年1月、「B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020」に出場。

今年1月に愛知県で開催され、全国から35チームが参加した「B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020」。

決勝トーナメントでは、各試合で、終盤まで勝敗が分からない接戦が繰り広げられ、見事、宇都宮ブレックスU15が優勝をつかみ取り、前回大会に引き続き、大会史上初の2連覇を達成しました。

さらに、星川開聖さんが大会 MVPとベスト5に、キャプテンの菊田隼利さんがベスト5に輝きました。

チーム一丸となつてつかみ取った優勝に、ヘッドコーチの荒井さんは「素直にうれしい。選手に恵まれた」と振り返ります。菊田さんは「2連覇できてキャプテンとしてもうれしい」、星川さんは「2連覇が懸かっているというプレッシャーもあったが、試合に出られなかった仲間の分も頑張れた」と喜びをかみしめます。

荒井コーチは「今までやってきたことの蓄積。私たちコーチが言わなくても、やるべきことが分かっているから接戦に勝てた」と、チームの強みを語ります。

普段の練習は、週に5回、2時間ほど。そのうちの1日は、トレ

ニングやシューティングに時間をかけ、体づくりとシュートの精度の向上に励みます。日々の練習から、当たり前のことを当たり前前にできる選手を育てています。

また、宇都宮ブレックスU15は文武両道を掲げ、学業や話し方なども指導することで、人間としての成長も目指します。また、選手とのコミュニケーションを図るため、3カ月に1度、保護者を含めた三者面談を行っています。

「最終的には、Bリーグや日本代表の選手を輩出すること」を今後のチームの目標としています。荒井コーチは「将来、大学など、進学先で活躍して、またブレックスに戻ってきてくれれば。そういう選択肢を広げるためにも学業は必要」と、人としての成長も大切にしています。

現在、高校生になった菊田さんは、「高校で足りないところを学び、大学進学やプロ選手になれるよう努力する」、星川さんは今後について、「日本代表を目指す」と抱負を語ります。

将来を見据えた選手の育成に尽力する宇都宮ブレックス。チーム一丸となり、さらなる高みを目指します。

※ 国内男子プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」に加盟するクラブの15歳以下で構成されるユースチームの大会